

The 31st. A Class Dinghy Japan Championship

2022.JULy2-3
in Wakasu, Tokyo

35度を超える異常ともいえる暑さの中、
22クラブ 152名のセーラー
Wood艇13艇 FRP艇18艇
の参加で開催されました。

31st All Japan International 1/2-foot A-class Dinghy Championship
全日本A級ディンギー選手権大会



開会式もテントの中ではみ出ているチームもありました。

いつも緊張する出航。
それにしても本当に暑かった。



ここは穏やかですが、外は結構吹いていますよ。



スタート！
荒川からの潮の影響か
皆さん、スタートには苦労されてました。



photo by Aki Matsuyama / Kazi

A級Wood艇は、
基本的に忠実でないと走りません。
若い人が、
ヨットを学ぶ最適な艇種なんですかね？



第一マーク回航
見てください！
23号艇の若手の女子クルーのガンバリ。
昔は、我々もそうでしたよね!!




photo by Aki Matsuyama / Kazi

第一マークは、いつも込み合いますね。
昔は、ポート、スターボの声の掛け合い（どなり合い）がありました。
ケースを起こした場合は、A級の場合1回転のペナルティで
よろしいようで。やはりエンジョイ セーリングが一番。
失格で嫌な思いするのは、もうたくさん。



photo by Aki Matsuyama / Kazi

A person wearing a red life vest and a red cap is sailing a small boat with a large white sail on a choppy sea. The sail is tall and tapers to a point. The person is leaning forward, holding the tiller. The water is dark and has small waves. In the background, there are other boats and a distant shoreline under a grey sky.

スターンを見ると
どれだけうねりがあるか
わかりますね。

photo by Aki Matsuyama / Kazi

50年前に建造された日本で
最古のWood艇。
何度も沈をしながら大健闘。
九州からお疲れ様。



photo by Aki Matsuyama / Kazi

これぞ、村上艇。ボートもマストもブームも
そしてセールまで自作ですよ。
関東人には、考えも及びません。
もう勝負あった。

photo by Aki Matsuyama / Kazi

第一日目は、午後より風が上がってきたので
目の前のポンド内でミニレース。
岸壁からの応援もあり、それはそれで楽しかった。





全国から皆さん、この笑顔を求めてやってきた。
その甲斐が、ありましたね。



photo by Aki Matsuyama / Kazi

初めての東京都での開催、いかがでしたでしょうか？
次回は、10月22日23日 葉山レガッタでお待ちしております。
そして、来年2023年は博多で、
32nd A Class Dinghy Japan Championshipが開催されます。
また元気にお逢いできること、楽しみにしていますよ！！

